

プログラム

特別講演

第1日目 9月2日(水) 10:00～11:00 第1会場

座長：村尾 佳則（近畿大学医学部 救急医学教室）

「熱傷医学の巨星・Pruitt先生」

演者：相川 直樹（慶應義塾大学名誉教授）

教育講演1(救急科領域講習)

第1日目 9月2日(水) 9:00～10:00 第1会場

座長：嶋津 岳士（大阪大学大学院医学系研究科 救急医学）

「Practice guidelinesを踏まえた熱傷急性期診療の要点」

演者：織田 順（東京医科大学 救急・災害医学分野）

※ 9月2日(水) 13:50～14:50 第1会場 録画上映

教育講演2(形成外科領域講習)

第2日目 9月3日(木) 9:00～10:00 第1会場

座長：櫻井 裕之（東京女子医科大学 形成外科）

「人工皮膚、培養皮膚を用いた新しい皮膚再生治療」

演者：森本 尚樹（京都大学大学院医学研究科 形成外科学）

※ 9月3日(木) 13:10～14:10 第1会場 録画上映

ワークショップ

第2日目 9月3日(木) 10:30～11:30 第2会場

「2020東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた日本熱傷学会の取り組み」

座長：田中 裕（順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科）

松田 潔（日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター 救命救急科）

WS-1 2020年東京オリンピック・パラリンピックと救急医療

佐々木淳一（慶應義塾大学医学部 救急医学）

WS-2 東京オリ・パラ大会に備えたコンソーシアム学術連合体における日本熱傷学会の取り組み

齋藤 大蔵（防衛医科大学校 外傷研究部門）

WS-3 オリ・パラ大会に備えた熱傷対応、落雷対応への取り組み

織田 順（東京医科大学 救急・災害医学）

WS-4 本邦の熱傷診療に関する現状調査(多数熱傷患者の発生に備えて)

清住 哲郎（防衛医科大学校 防衛医学講座）

シンポジウム1

第1日目 9月2日(水) 9:00～11:00 第2会場

「熱傷瘢痕拘縮治療の理論と実践」

座長：橋本 一郎（徳島大学大学院医歯薬学研究部 形成外科学分野）

小川 令（日本医科大学 形成外科）

SY1-1 熱傷瘢痕拘縮治療の理論と実践

小川 令（日本医科大学 形成外科）

SY1-2 当科における熱傷後瘢痕に対する再生医療の試み

樫村 勉（日本大学医学部 形成外科学系 形成外科学分野）

SY1-3 熱傷瘢痕予防を念頭においた治療の工夫

林 稔（聖マリア病院 形成外科）

SY1-4 Skin-splitting conceptによる熱傷後瘢痕拘縮再建

石井 暢明（日本医科大学 千葉北総病院 形成外科）

SY1-5 熱傷後頸部瘢痕拘縮に対する皮弁再建の実際

松峯 元（東京女子医科大学 八千代医療センター 形成外科）

SY1-6 熱傷後高度腹部瘢痕女性の出産に対する手術適応についての再考察

三川 信之（千葉大学医学部 形成外科）

SY1-7 手指・手の熱傷瘢痕拘縮

小野 真平（日本医科大学 形成外科）

SY1-8 足部熱傷後瘢痕に対する治療戦略

此枝 央人（東京女子医科大学 形成外科）

シンポジウム2

第1日目 9月2日(水) 15:10～16:20 第2会場

「熱傷治療における感染管理の最前線」

座長：松村 一（東京医科大学 形成外科学分野）

福島 英賢（奈良県立医科大学 救急医学・高度救命救急センター）

SY2-1 広範囲熱傷患者における感染管理-杏林の現状と展望-

海田 賢彦（杏林大学医学部 救急医学）

SY2-2 熱傷治療における感染管理の最前線:手術時の感染管理

松村 一 (東京医科大学 形成外科学分野)

SY2-3 広範囲熱傷における感染のリスク要因と敗血症の関連

濱口 満英 (近畿大学病院 救命救急センター)

SY2-4 創炎症期・母床壊死を捉える熱傷創感染管理

中島 紳史 (JCHO 中京病院 救急科)

SY2-5 TBSA20%未満で死亡の転機を遂げる熱傷は感染に対する早期対応の遅れに起因する

藤岡 正樹 (国立病院機構 長崎医療センター 形成外科／
国立病院機構 長崎医療センター 臨床研究センター機能形態研究部)

パネルディスカッション1

第1日目 9月2日(水) 11:00～11:50 第1会場

「熱傷患者への心理的社会的支援」

座長：島田 賢一 (金沢医科大学 形成外科学)
井上 貴昭 (筑波大学附属病院 救急・集中治療部)

PD1-1 熱傷患者への心理社会的支援における取り組み—看護師が患者と多職種を繋ぐ—

遠藤 優哉 (独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院 看護部 救命救急センター)

PD1-2 アピアランス<外見>問題Appearance Matters (AM)への包括的(段階的)ケア

原田 輝一 (寺元記念病院 形成外科／てらもと医療リハビリ病院 内科・リハビリテーション科)

PD1-3 広範囲熱傷における治療中断の妥当性 -家族が手術に同意しなかった1例を通じて-

戸上 由貴 (大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

PD1-4 熱傷患者の心理的社会的支援～今何が必要か？～

濱口 満英 (近畿大学病院 救命救急センター)

パネルディスカッション2

第2日目 9月3日(木) 10:30～11:20 第1会場

「熱傷治療における人工真皮の有用性」

座長：安田 浩 (産業医科大学病院 形成外科)
上田 敬博 (鳥取大学医学部附属病院 救命救急センター)

PD2-1 重症熱傷患者において人工真皮を最大限に活かす術と今後の展望

吉川 慧 (杏林大学医学部 救急医学)

PD2-2 自家3倍メッシュと自家6倍メッシュ人工真皮サンドイッチの比較

山田 裕彦 (岩手医科大学 救急・災害・総合医学講座 救急医学分野)

PD2-3 新規人工真皮ペルナックGプラスの有用性

森本 尚樹（京都大学大学院医学研究科 形成外科学）

PD2-4 当院における人工真皮を用いた下肢深達性2度・3度熱傷の治療効果の検討

一ノ橋紘平（近畿大学病院 救命救急センター 熱傷センター）

パネルディスカッション3

第2日目 9月3日(木) 15:10～16:10 第1会場

「熱傷基礎研究の現状と実用化に向けて」

座長：田崎 修（長崎大学病院 高度救命救急センター）

森本 尚樹（京都大学大学院医学研究科 形成外科学）

PD3-1 マウス熱傷モデルにおける重症度による自然免疫系遺伝子発現パターンの変化

田島 吾郎（長崎大学病院 高度救命救急センター）

PD3-2 熱傷マウスモデルにおける臓器ごとの毛細血管内皮上グリコカリックスの脱落とその制御

松浦 裕司（大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター）

PD3-3 乾燥同種培養表皮の開発 臨床研究から治験へ

坂本 道治（京都大学大学院医学研究科 形成外科学）

PD3-4 血管網を持つ複合型培養皮膚による皮膚再生

宮崎 裕美（防衛医科大学校 防衛医学研究センター 外傷研究部門）

PD3-5 ヒトDFATの人工真皮への真皮様組織構築促進効果の検証-免疫不全マウスでの実験的検討-

副島 一孝（日本大学医学部 形成外科学系形成外科学分野）

パネルディスカッション4

第2日目 9月3日(木) 9:00～10:30 第2会場

「熱傷患者の早期社会復帰実現にむけたチーム医療」

座長：齋藤 大蔵（防衛医科大学校 外傷研究部門）

織田 順（東京医科大学 救急・災害医学）

PD4-1 チーム医療の集学性を高めるコアアウトカム・セット～国際コンセンサスの動向～

原田 輝一（寺元記念病院 形成外科／てらもと医療リハビリ病院 内科・リハビリテーション科）

PD4-2 カルテ記載でチーム力を高める

山田 祥子（川崎医科大学 救急医学）

PD4-3 重症熱傷のメンタルケア～QOLの回復とwell-beingを目指して

川本 恭子（東京女子医科大学 神経精神科）

PD4-4 熱傷患者における多職種によるチーム医療の役割について

上田 敬博（鳥取大学医学部附属病院 救命救急センター）

PD4-5 当院における熱傷看護教育の現状と熱傷看護マニュアルの今後の課題

遠藤 優哉（独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院 看護部 救命救急センター）

PD4-6 「患者 First」を目指した看護への取り組み

渡邊 好江（杏林大学医学部付属病院 HCU病棟）

パネルディスカッション5

第2日目 9月3日(木) 13:10～15:10 第2会場

「多数熱傷患者発生時の対応」

座長：村尾 佳則（近畿大学医学部 救急医学教室）

櫻井 裕之（東京女子医科大学 形成外科）

PD5-1 多数熱傷患者対応の考え方(現場～分散搬送)

清住 哲郎（防衛医科大学校 防衛医学講座／日本熱傷学会 災害ネットワーク検討委員会）

PD5-2 多数熱傷患者発生時のドクターヘリを用いた分散・広域搬送に関して

守田 誠司（東海大学医学部 外科学系救命救急医学）

PD5-3 熱傷手術遠隔支援について～他院支援で気付いたキーポイント～

中島 紳史（JCHO 中京病院 救急科）

PD5-4 多数熱傷患者発生時の対応～火災事故における現場活動実体験を通じて～

松田 潔（日本医科大学 武蔵小杉病院 救命救急センター 救命救急科）

PD5-5 京都で発生した多数熱傷傷病者発生時の現場トリアージと搬送

高階謙一郎（京都第一赤十字病院 救命救急センター 救急科）

PD5-6 多数熱傷患者発生時の理事の対応

村尾 佳則（日本熱傷学会理事）

PD5-7 多数熱傷患者発生時における日本スキンバンクネットワークの対応状況

齋藤 大蔵（防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門／日本スキンバンクネットワーク）

PD5-8 多数熱傷患者発生時の自家培養表皮(ジェイス[®])の対応

上田 敬博（鳥取大学医学部附属病院 救命救急センター）

学術委員会報告

第1日目 9月2日(水) 14:50～15:50 第1会場

座長：佐々木淳一（日本熱傷学会 学術委員会）

「熱傷入院患者レジストリー」と「熱傷診療ガイドライン改訂第3版」

ランチョンセミナー1

第1日目 9月2日(水) 12:00～13:00 第1会場

座長：寺師 浩人（神戸大学医学部附属病院 形成外科）

LS1-1 非固着性被覆材を使用した熱傷処置 ～ドレッシング管理～

一ノ橋紘平（近畿大学医学部救急医学教室 救命救急センター）

LS1-2 当院の広範囲熱傷治療における多職種連携の実際～日常、社会復帰を目指して～

浅井 英樹（奈良県立医科大学救急医学講座 高度救命救急センター）

共催：アルケア株式会社

ランチョンセミナー2

第1日目 9月2日(水) 12:00～13:00 第2会場

座長：上田 敬博（鳥取大学医学部附属病院 救命救急センター）

LS2 熱傷治療におけるbFGFの位置付け－ガイドライン作成から－

黒川 正人（熊本赤十字病院 形成外科）

共催：科研製薬株式会社

ランチョンセミナー3

第2日目 9月3日(木) 12:00～13:00 第1会場

座長：磯貝 典孝（近畿大学医学部 形成外科学講座）

LS3-1 包帯交換の新機軸～銀含有創傷被覆材の創意工夫～

海田 賢彦（杏林大学医学部 救急医学）

LS3-2 広範囲熱傷に対する人工真皮の使用と工夫

國重 千佳（兵庫県立加古川医療センター 救命救急センター）

共催：コンバテックジャパン株式会社/ゲンゼ株式会社

ランチョンセミナー4

第2日目 9月3日(木) 12:00～13:00 第2会場

「自家培養表皮による超広範囲熱傷の治療の実際」

座長：池田 弘人（帝京大学医学部附属病院 救急科）

LS4-1 94%TBSAの超重症熱傷の治療経験

松山 重成（兵庫県災害医療センター 高度救命救急センター）

LS4-2 放火事件による95%熱傷

黒木 雄一（独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院 救急科）

LS4-3 アログラフトを使用しない自家培養表皮(ジェイス®)を用いた広範囲熱傷の治療戦略

上田 敬博（鳥取大学医学部附属病院 救命救急センター）

共催：株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

一般口演1

第1日目 9月2日(水) 15:50～16:30 第1会場

「患者統計」

座長：池田 弘人（帝京大学医学部 救急医学講座）

○1-1 病院間の転送・転院が広範囲熱傷の予後を改善する-熱傷レジストリーの後向き観察研究

吉村 有矢（防衛医科大学校病院 救急部／埼玉医科大学国際医療センター 救命救急科／
日本熱傷学会 学術委員会）

○1-2 当院における熱傷患者の受傷原因を中心とした疫学研究

齋藤百合子（弘前大学 形成外科）

○1-3 当院における労働災害による熱傷症例の検討

青木 優季（東京医科大学病院 形成外科）

○1-4 当院における足底熱傷の検討

藤原 修（国立病院機構災害医療センター 形成外科）

○1-5 当院で加療を行った電撃傷11例の臨床的検討

松原 大樹（広島大学病院 皮膚科）

一般口演2

第1日目 9月2日(水) 11:00～11:48 第2会場

「植皮・培養皮膚移植」

座長：上山 昌史（地域医療機能推進機構 中京病院 救急科）

○2-1 北海道大学病院における10年間の自家培養表皮適応症例の検討

村尾 尚規（北海道大学大学院医学研究院 形成外科学教室／
国家公務員共済組合連合会 斗南病院 形成外科）

○2-2 広範囲熱傷に対する自家培養表皮の使用経験

碓元 佐和（鹿児島市立病院 形成外科）

○2-3 単層型インテグラ® の使用で自家培養表皮移植までの真皮構築期間を短縮できた1例

森内 由季（社会医療法人 北九州病院 北九州総合病院 形成外科）

○2-4 広範囲熱傷にサンドウィッチ法(bFGF徐放性人工真皮)とハイブリッド法を使用した2症例

山本 健登（大雄会第一病院 形成外科）

O2-5 頭部からの採皮時の工夫

岩瀬 史明（山梨県立中央病院 高度救命救急センター）

O2-6 背部熱傷創の植皮後の安静における体位の工夫－腹臥位、側臥位で管理した2症例－

山賀 聡之（広島大学大学院 救急集中治療医学）

一般口演3

第1日目 9月2日(水) 13:50～14:30 第2会場

「若手セッション1」

座長：伊東 大（宮崎大学医学部 外科学講座形成外科学分野）

O3-1 小児熱傷受傷後の発熱と感染有無に関する検討

千田恵理奈（市立奈良病院 再建形成外科）

O3-2 当地域における重症熱傷の治療体制～当院の事例から～

宮崎 誠司（茨城西南医療センター病院 救命救急センター）

O3-3 尿道に至る陰茎凍傷を合併した重症凍傷の治療経験

菅原 隆（日本大学医学部附属板橋病院 形成外科）

O3-4 重症熱傷に合併した無石性壊疽性胆嚢炎に対し、熱傷創から開腹手術を施行した一例

新美 雄大（北里大学病院 形成外科・美容外科／北里大学病院 救命救急・災害医療センター）

O3-5 コンベアの摩擦熱により生じた足底部深達性熱傷の1例

北野 大希（兵庫県立加古川医療センター 形成外科）

一般口演4

第1日目 9月2日(水) 14:30～15:10 第2会場

「若手セッション2」

座長：杠 俊介（信州大学医学部 形成再建外科学教室）

O4-1 気道熱傷における遅発性上気道狭窄の予測スコアと入院期間に関する検討

松村 一希（慶應義塾大学医学部 救急医学）

O4-2 顔面爆発熱傷の1例

小島 永稔（太田西ノ内病院 形成外科・美容外科）

O4-3 気胸を合併した気道熱傷に対してVV-ECMOが有効であった1例

久下 祐史（愛知医科大学病院 救命救急科）

O4-4 術中体位変換後に肺塞栓症を発症したと考えられた、広範囲熱傷後死亡に至った一例

鈴木はるか（東京医科歯科大学医学部付属病院 形成・美容外科）

O4-5 広範囲熱傷での大腿切断術で下肢長温存を試みた1例

小倉 明人（製鉄記念広畑病院 形成外科）

一般口演5

第2日目 9月3日(木) 14:10～14:42 第1会場

「高齢者・小児熱傷」

座長：田中 秀治（国士舘大学 体育学部スポーツ医科学科）

O5-1 都心部での高齢者および小児における加害熱傷の早期予後に関する検討

山元 良（慶應義塾大学医学部 救急医学）

O5-2 我々の経験した医原性熱傷～内視鏡光源の不適切な使用による手掌熱傷の一例

伊藤 悠介（医療法人大雄会 大雄会第一病院 形成外科）

O5-3 皮膚科・形成外科医のいない救命センターでの小児熱傷管理についての検討

田中由基子（筑波メディカルセンター病院 救急診療科）

O5-4 小児熱傷予防の啓蒙について

池野屋慎太郎（松江赤十字病院 形成外科）

一般口演6

第2日目 9月3日(木) 14:42～15:06 第1会場

「後遺症の再建」

座長：副島 一孝（日本大学医学部 形成外科学系形成外科学分野）

O6-1 小児期の前胸部深達性熱傷後瘢痕拘縮に対する成人期の皮膚・乳房同時再建の一例

竹田 昌平（東京女子医科大学 形成外科）

O6-2 幼小児の手掌熱傷後瘢痕拘縮に対する植皮時の爪牽引固定

小坂 和弘（仙台市立病院 形成外科）

O6-3 広範囲熱傷に合併した重度手部瘢痕拘縮に対して複数皮弁による再建を行なった一例

山路 佳久（前橋赤十字病院 形成・美容外科／千葉大学医学部附属病院 形成・美容外科）

一般口演7

第2日目 9月3日(木) 16:10~16:50 第1会場

「局所療法」

座長：森田 尚樹（東京都立広尾病院 形成外科）

07-1 当院における伸縮包帯と綿花を用いた体幹植皮創管理の工夫

平 卓也（兵庫県災害医療センター／香川大学医学部 救命救急センター）

07-2 受傷2週間以降で紹介受診した3度熱傷6例の検討

羽多野隆治（大阪市立大学大学院医学研究科 形成外科学）

07-3 右手部熱圧挫創を契機に発症した手根管症候群の治療経験

井川 祐一（厚生連高岡病院 形成外科）

07-4 両手背の3度熱傷をVAC療法と分層植皮で治療した1例

アマデアル亜毳（水戸協同病院 皮膚科）

07-5 苛性ソーダによる化学熱傷に対し局所陰圧療法で治療に成功した一例

出端 祥成（社会医療法人高清水高井病院整形外科）

一般口演8

第2日目 9月3日(木) 15:10~15:42 第2会場

「ABLS・プレホスピタル、アログラフト・スキンバンク、集団災害」

座長：鳴海 篤志（独立行政法人国立病院機構別府医療センター 救急科）

08-1 奈良県中南和地域における熱傷症例の搬送状況に関する検討

堀口 桃子（奈良県立医科大学 救急医学・高度救命救急センター）

08-2 日本スキンバンクネットワーク2019年活動報告

青木 大（一般社団法人 日本スキンバンクネットワーク）

08-3 消防ヘリによる凍結保存同種皮膚の緊急的空路搬送の経験

三川 信之（千葉大学医学部 形成外科）

08-4 多数熱傷患者発生時における二次搬送を考えた初期情報管理

竹上 徹郎（京都第一赤十字病院 救命救急センター 救急科）

一般口演9

第2日目 9月3日(木) 15:42～16:14 第2会場

「リハビリ・社会復帰・看護」

座長：渡邊 好江（杏林大学医学部附属病院 HCU病棟）

O9-1 重症熱傷患者が辿った痛みの軌跡

遠藤 優哉（独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院 看護部 救命救急センター）

O9-2 近畿大学病院熱傷センターにおける下腿3度熱傷患者のリハビリテーション経験

木本 祐太（近畿大学病院 リハビリテーション部）

O9-3 熱傷によるADLおよび視力低下をきたした高齢熱傷患者症例の検討

松下 沙希（製鉄記念八幡病院 看護部）

O9-4 小児広範囲熱傷患者のICU日記を振り返って

木佐貫祥子（奈良県立医科大学附属病院 看護部 高度救命救急センターICU）

一般口演10

第2日目 9月3日(木) 16:14～16:46 第2会場

「その他」

座長：古川 洋志（愛知医科大学 形成外科）

O10-1 当施設における電撃症の治療戦略についての検討

小林 潤貴（愛知医科大学病院 形成外科）

O10-2 熱傷患者における消化器合併症の検討

熊澤 憲一（北里大学医学部 形成外科・美容外科学／北里大学医学部 救命救急医学）

O10-3 上肢ヒートプレス損傷に対する再建

鳥谷部 莊八（国立病院機構仙台医療センター 形成外科手外科）

O10-4 やけどに関する情報発信のあり方について考えられた在外邦人の熱傷の1例

窪田 吉孝（千葉大学 形成外科）

一般ポスター1

第1日目 9月2日(水) 16:30～16:54 ポスター会場

「後遺症の再建」

座長：山本 有祐（上尾中央総合病院 形成外科）

P1-1 重症熱傷による全手指欠損に対して機能再建を行った2例

加藤 敬（JCHO 中京病院 形成外科）

P1-2 電撃傷後の上肢関節拘縮に対して皮弁形成を行った2例

菊地 憲明（公立置賜総合病院 形成外科）

P1-3 頸部熱傷植皮術後の瘢痕拘縮に対して遊離皮弁を行った1例

辻本 賢樹（聖隷三方原病院 形成外科）

一般ポスター2

第1日目 9月2日(水) 16:30～16:46 ポスター会場

「気道熱傷、疼痛管理」

座長：塩野 茂（医療法人正和病院 外科）

P2-1 体外式膜型人工肺とステロイド療法による呼吸管理を施行した気道熱傷の1例

宮川乃理子（東北大学病院 高度救命救急センター）

P2-2 持続末梢神経ブロックを導入して熱傷に対する疼痛管理を行った3症例

山田 尚弘（山形県立中央病院 救急科）

一般ポスター3

第1日目 9月2日(水) 16:30～16:54 ポスター会場

「創傷治癒・瘢痕」

座長：武田 啓（北里大学医学部 形成外科・美容外科学）

P3-1 熱傷瘢痕に生じたerosive pustular dermatosisの1例

山本 優子（横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター）

P3-2 顔面・頸部熱傷後瘢痕拘縮の治療を契機に生じた耳下腺瘻の経験

仲本 寛（東京女子医科大学 形成外科）

P3-3 大関節部の深達性熱傷創を一期的に閉鎖した2症例

坂井 香（鳥取県立中央病院 形成外科）

一般ポスター4

第1日目 9月2日(水) 16:30～16:54 ポスター会場

「リハビリ・社会復帰・看護」

座長：漆館 聡志（弘前大学大学院医学研究科 形成外科学講座）

P4-1 全身熱傷患者のARDSに対して他職種連携により改善した症例

石井 俊介（独立行政法人 国立病院機構 水戸医療センター）

P4-2 一般総合病院における熱傷処置効率化に対する多職種チームの取り組みについて

中村 彩夏（社会福祉法人 聖隷福祉事業団 医療保護施設 総合病院 聖隷三方原病院 看護部 F4病棟）

P4-3 腐食性食道炎治療後、自殺による心肺停止状態で救急搬送された1例

赤間 悠一（三重大学医学部附属病院 救命救急・総合集中治療センター）

一般ポスター5

第1日目 9月2日(水) 16:54～17:26 ポスター会場

「病態、感染」

座長：村尾 尚規（国家公務員共済組合連合会 斗南病院 形成外科）

P5-1 熱傷創の病態を考慮した工夫

原田 輝一（寺元記念病院 形成外科／てらもと医療リハビリ病院 内科・リハビリテーション科）

P5-2 デブリードマンの判断に苦慮した高温蒸気に伴った広範囲化学熱傷の1例

楠澤 佳悟（岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター）

P5-3 重症熱傷受傷後の血球数の推移と予後に与える影響

大須賀章倫（JCHO 中京病院 救急科／大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター）

P5-4 熱傷にAeromonas hydrophilaによる皮膚軟部組織感染症を合併した一例

頌彦 尚（前橋赤十字病院 形成・美容外科）

一般ポスター6

第1日目 9月2日(水) 16:54～17:26 ポスター会場

「高齢者・小児熱傷」

座長：清住 哲郎（防衛医科大学校 防衛医学講座）

P6-1 有機溶剤暴露で意識障害となり広範囲化学損傷を来した一例

長崎 敬仁（日本大学医学部 形成外科学系形成外科分野）

P6-2 高温環境下の洋式便座により生じた、難治性の両側臀部低温熱傷の1例

中込圭一郎（深谷赤十字病院 救急診療科）

P6-3 小児広範囲熱傷に対して保存的治療が可能であった1例

入江 康仁（秋田大学大学院医学系研究科 救急・手中治療医学講座）

P6-4 救命・機能・整容を配慮し様々な治療法を駆使した幼児重症熱傷症例

黒柳 美里（横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター／
横浜市立大学 救急医学教室／横浜市立大学 形成外科学教室）

一般ポスター7

第1日目 9月2日(水) 16:54~17:26 ポスター会場

「被覆材・外用剤、植皮・培養皮膚移植」

座長：山田 裕彦（岩手医科大学 救急・災害・総合医学講座 救急医学分野）

P7-1 羊熱傷分層植皮モデルを用いた局所外用剤としてのオメガ7の有用性

新美 陽介（テキサス大学ガルベ斯顿校 麻酔科／東京女子医科大学 形成外科）

P7-2 3度熱傷に対する分層植皮術直前に中毒性表皮壊死症(TEN)を発症した一例

諸江 雄太（日本赤十字社医療センター 救命救急センター）

P7-3 小児熱傷患者におけるNPWTを用いた植皮固定の有用性

岩田 友宏（東京女子医科大学八千代医療センター 形成外科）

P7-4 手術当日から歩行可とするための下肢全周性熱傷における植皮片の固定方法

桑原 広輔（温知会 会津中央病院 形成外科）